

K-586

米沢市埋蔵文化財調査報告書 第95集

# 遺跡詳細分布調査報告書

## 第21集

包蔵地内分布調査  
公共事業関連分布調査  
大規模開発分布調査  
東部地区分布調査

2008

米沢市教育委員会

米沢市埋蔵文化財調査報告書 第95集

# 遺跡詳細分布調査報告書

## 第21集

2008

米沢市教育委員会

## 序 文

本報告書は、米沢市教育委員会が平成19年度に国庫補助事業として実施した『遺跡詳細分布調査』の成果をまとめたものです。

米沢市教育委員会は、埋蔵文化財の周知を図るため、平成元年から遺跡詳細分布調査を継続して実施しております。調査を重ねることは、歴史の解明と埋蔵文化財の保存保護につながります。

今年度の遺跡詳細分布調査では、個人住宅等開発、大規模開発にかかわる試掘調査を実施しました。また、本市の東部地域に位置する上郷小学校建設予定地の分布調査を実施し、成果を上げました。

本年度の調査に際しては、関係各位のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げますとともに、今後とも開発事業に対し円滑な調整を図り、可能な限り力を注いでいく所存であります。

最後になりましたが、調査に際しご指導を賜りました文化庁、山形県教育庁教育やまがた振興課文化財保護室をはじめ、地権者各位並びに地元の皆様に対し衷心よりお礼申し上げます。

2008年3月

米沢市教育委員会

教育長 舛田忠雄

## 例 言

- 1 本報告書は、文化庁の補助を受けて実施した、平成19年度の遺跡詳細分布調査報告書である。
- 2 調査は米沢市教育委員会が実施した。
- 3 調査期間 平成19年4月5日から平成20年3月31日
- 4 調査体制は下記の通りである。

調査主体	米沢市教育委員会
調査総括	村野 隆男（教育管理部文化課長）
調査担当	手塚 孝（教育管理部文化課文化財主査）
調査主任	菊地 政信（教育管理部文化課文化財担当主査）
調査参加者	小形 直美 新藤伊勢夫 丸山 忠俊 近野 慶子 永井ゆり子 山田 悟郎
事務局長	佐藤 孝市（教育管理部文化課長補佐）
事務局	青木 千尋（教育管理部文化財担当主任）
調査指導	文化庁 山形県教育庁教育やまがた振興課文化財保護室
- 5 挿図の縮尺は、第1図～37図は1万分の1、その他についてはスケールで示した。調査箇所についてはドットや実線で示した。第41図以外は上部が真北である。第41図の真北方向については図に示した。挿図内の図化及び記号は、TY-柱穴 KY-溝状遺構、P-ピット、T-トレンチを示す。
- 6 本書の作成は菊地政信が担当し、小形直美、近野慶子が補佐した。全体については手塚孝が総括した。
- 7 調査にあたって、上郷小学校及び関係各位のご協力を得た。記して感謝申し上げます。

# 本文目次

## 序文 例言 第I節

1	開発に伴う分布調査の概要	1
2	包蔵地内分布調査（民間による開発）	2
	台坂遺跡	2
	米沢城二の丸跡	2
	下花沢B遺跡	2
	台ノ上遺跡	2
	矢野目西屋敷	2
	上谷地B遺跡	5
	大沢b遺跡	7
	春日町遺跡	7
	古志田館ノ内館	7
	大壇A遺跡	7
	萩ノ森遺跡	7
	花沢A遺跡	7
	梓山館跡	9
	三合免館跡	9
	下原b遺跡	9
3	包蔵地内分布調査（公共事業）	
	花沢A遺跡	11
	館山平城	11
	大樽遺跡	11
	金ヶ崎A遺跡	11
	窪平遺跡	11
	台坂遺跡	11
	米沢城南三の丸跡	11
	下新田館跡	12
	大壇A遺跡	13
4	大規模開発に伴う遺跡分布調査	
	万世町片子地内	15
	信夫町地内	15
	城西一丁目地内	15

御廟二丁目地内	15
松が岬一丁目地内	15
太田町二丁目地内	15
下花沢二丁目地内	15
花沢町一丁目地内	17
関根小学校地内	17
徳町5番地内	17
六郷町藤泉地内	17
塩井町塩野地内	17
林泉寺三丁目地内	17
第Ⅱ節 米沢市東部地区に於ける分布調査	
1 分布調査の概要	19
2 分布調査の成果	19
第Ⅲ節 上郷小学校建設予定地に於ける分布調査	
1 分布調査の概要	21
2 分布調査の成果	21

## 付 表 目 次

表1 包蔵地内分布調査箇所	4
表2 公共工事関連分布調査箇所	4
表3 大規模開発分布調査箇所	4

## 挿 図 目 次

第1図 台坂遺跡試掘箇所位置図	3
第2図 米沢城二の丸跡試掘箇所位置図	3
第3図 下花沢b遺跡試掘箇所位置図	3
第4図 台ノ上遺跡試掘箇所位置図	3
第5図 上谷地B遺跡試掘箇所位置図	3
第6図 矢野目西屋敷遺跡試掘箇所位置図	3
第7図 上谷地B遺跡トレンチ配置図	5
第8図 大沢b遺跡試掘箇所位置図	6
第9図 春日町遺跡試掘箇所位置図	6
第10図 古志田館ノ内館A遺跡試掘箇所位置図	6

第11図	大壇A遺跡試掘箇所位置図	6
第12図	萩ノ森遺跡試掘箇所位置図	6
第13図	花沢A遺跡試掘箇所位置図	6
第14図	梓山館跡試掘箇所位置図	8
第15図	三合免館跡試掘箇所位置図	8
第16図	下原b遺跡試掘箇所位置図	8
第17図	花沢A遺跡試掘調査区位置図	10
第18図	館山平城・大樽遺跡試掘調査区位置図	10
第19図	金ヶ崎A遺跡試掘調査区位置図	10
第20図	窪平遺跡試掘調査区位置図	10
第21図	台坂遺跡試掘調査区位置図	10
第22図	米沢城南三の丸跡遺跡試掘調査区位置図	10
第23図	下新田館跡遺跡試掘調査区位置図	12
第24図	大壇A遺跡試掘調査区位置図	13
第25図	万世町片子地内調査区位置図	14
第26図	信夫町地内調査区位置図	14
第27図	城西一丁目地内・御廟二丁目地内調査区位置図	14
第28図	松が岬一丁目地内調査区位置図	14
第29図	太田町二丁目地内調査区位置図	14
第30図	下花沢二丁目地内調査区位置図	14
第31図	花沢町一丁目地内調査区位置図	16
第33図	関根小学校地内調査区位置図	16
第33図	徳町5番地内調査区位置図	16
第34図	六郷町藤泉地内調査区位置図	16
第35図	塩井町塩野地内調査区位置図	16
第36図	林泉寺町三丁目地内調査区位置図	16
第37図	米沢市東部地区分布調査箇所位置図	18
第38図	上郷小学校建設予定地試掘範囲図	20
第39図	上郷小学校建設予定地試掘調査トレンチ配置図	22
第40図	上郷小学校建設予定地試掘調査トレンチ遺構配置図	23

## 図 版 目 次

- 第1図版 上郷小学校建設予定地試掘調査  
 第2図版 上郷小学校建設予定地試掘調査  
 第3図版 上郷小学校建設予定地試掘調査

## 第I節 開発に伴う分布調査

### 1 開発に伴う分布調査の概要

平成19年度に本市教育委員会に、住宅開発などによって埋蔵文化財に係わることから、協議や分布調査等の確認依頼を受けたのは、平成20年2月29日現在で44件あった。

の中で、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）及び包蔵地以外を含め、試掘調査・立会い調査・現地確認調査を実施した内訳は下記のとおりである。

- |                |     |                   |    |
|----------------|-----|-------------------|----|
| (1) 住宅建設に係わるもの | 20件 | (2) 店舗建設に係わるもの    | 3件 |
| (3) 砂利採取に係わるもの | 2件  | (4) 宅地開発等に係わるもの   | 4件 |
| (5) 公共事業に係わるもの | 12件 | (6) その他の開発等に係わるもの | 3件 |

この中で試掘調査（立会い調査含）を実施したのは30件あり、種別としては例年と同様住宅開発に係わるものが大部分であり、次いで公共事業に係わるものであった。

上記の包蔵地内分布調査箇所については、大規模開発と区別し調査箇所・調査月日・開発種別・調査方法を表1に一括し、遺跡位置図と調査地点を第1～16図にまとめた。

今年度の包蔵地内分布調査によって遺構・遺物などが確認されたため、発掘調査の実施に至ったものに個人住宅関係の上谷地B遺跡がある。

この調査は、発掘調査に必要な経費の一部を事業者負担してもらう、受託事業として米沢市教育委員会と事業者が契約を締結して行った。調査結果は米沢市埋蔵文化財調査報告書第93集として作成した。

包蔵地内分布調査の依頼は20件であった。個人の住宅に関係するものが大半であり、小範囲の試掘であった。調査箇所において、遺物等は確認されなかったが、遺構に関しては、後世の削平や攪乱による消滅等が認められた。

これは、米沢市内に点在する遺跡であることや、現在の家を解体し、同じ場所に建設する場合が多いことが要因のひとつにあげられる。

公共事業としては、学校建設、上下水道関係や道路工事がある。学校建設に伴う試掘調査は、米沢市東部に位置する上郷小学校建設予定地内であり、面積が広いことや学校の授業に配慮したことから、平成19年5月・8月・11月に分けて実施している。下水道工事に関しては、昨年と同様に花沢地区に集中した。遺跡範囲としては花沢A遺跡や台坂遺跡があり、4月～12月の期間に立会い調査等を実施した。上水道は、本市の西部地区が多く窪平遺跡や館山平城の範囲の工事であり、下水道と同様に立会い調査で対応した道路建設としては、南部の大壇A遺跡と北東部の下新田館跡がある。これらについては、第17図～24図にまとめた。

大規模開発は、遺跡範囲ではないが概ね1,000以上の開発範囲を対象として試掘調査を実施した。砂利採集や集合住宅の建設が多く認められた。第25図～36に示したのが、分布調査実施箇所です。新たに発見された遺跡としては、上郷小学校建設予定地がある。年代は、中、近世と判断され、柱穴や溝状遺構が検出された。遺物としては、陶磁器類が数点出土している。

## 2 包蔵地内分布調査（民間による開発）

包蔵地内に於ける民間の住宅建設等に関する試掘調査について以下に述べる。位置図で試掘地点を示した番号と各表の通し番号は符号している。

### 1) 台坂（米沢市遺跡登録番号N-80）

第1図で示す地点であり、平成19年3月28日に現地では1m×1mの試掘範囲を2箇所配し、試掘調査を実施した。その結果、地表から15cm～20cmが黒土による攪乱層、2層面が10cm～16cmの暗褐色小礫層、3層面は14cm～18cmの黒褐色混合層にシルト及び礫が混じる混合層で、直下に4層となる暗褐色粘土層（地山）が確認され、3層面までの土層は全て後世による攪乱層と判断されるが、遺跡範囲であり、慎重工事で進めるよう指示した。

### 2・5・16・17・19 米沢城二の丸跡（米沢市遺跡登録番号N-543）

第2図で示す4箇所について、確認調査及び試掘調査を実施した。2の地点については、平成19年3月29日に1m×3mのトレンチ1本を配し掘り下げたところ、表土下100の深さで、近代（大正11年）の火災の痕跡を確認した。これまでの調査結果からすると近・中世期の遺構は、さらに30cmほど下方に存在するものと推測される。今回の開発は、工事基礎部分の最深（GL）が80cmに設定されており遺構面に影響しないものと判断し、深さに十分留意の上慎重工事で進めるよう指示した。他の5・16・17・19についても同様な状況であったので、慎重工事を指示した。

### 3) 下花沢B遺跡（米沢市遺跡登録番号D-82）

平成19年4月5日に現地では試掘調査を実施した。開発予定地に1m×3mのトレンチを配して掘り下げた結果、地表から50cm下面の褐色シルト層で土壌と思われる土色変化や炭化物が確認された。工事は、現在の表土に30cmの盛土を施して施工する計画で、基礎も盛土の範疇に収まることから、遺構に影響しないものと判断し、慎重工事で進めるよう指示した。

### 4) 台ノ上遺跡（米沢市遺跡登録番号E-222）

第4図で示す地点を平成19年4月5日に試掘調査を実施した。試掘箇所は遺跡範囲の南東縁辺中央部に位置する。開発予定地が道路より低いことから、30cmの盛土をしてから施工する計画であった。調査は、ボーリング探査で実施して堆積土が約100cmに達する箇所であることが判明し、今回の開発行為による遺構の影響はないと考えられるが、遺跡範囲であり慎重工事を指示した。

### 6・12) 上谷地B遺跡（米沢市遺跡登録番号A-268）

今年度発掘調査を実施した遺跡であり、次の頁で詳しく述べる。

### 7) 矢野目西屋敷（米沢市遺跡登録番号J-487）

第6図に示した箇所であり、米沢市の北西端部に位置する館跡である。1m×1mの範囲を30cm掘り下げた箇所が砂質層の確認面であり、遺構や遺物は確認されなかったが遺跡範囲であることから、慎重工事を指示した。



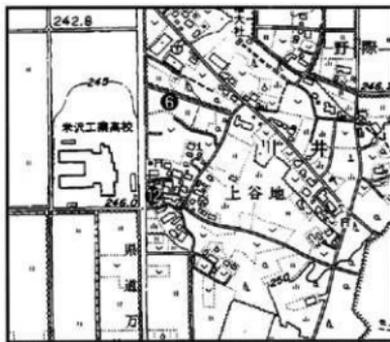
第1図 台坂遺跡試掘箇所位置図



第4図 台ノ上遺跡試掘箇所位置図



第2図 米沢城東二の丸跡試掘箇所位置図



第5図 上谷地B遺跡試掘箇所位置図



第3図 下花沢b遺跡試掘箇所位置図



第6図 矢野目西屋敷遺跡試掘箇所位置図

表1 包蔵地内分布調査箇所

No.	遺跡名	調査箇所	調査月日	種別	調査方法	備考
1	台坂	下花沢2丁目1587	3月28日	個人住宅	グリット	1m×1m 2箇所
2	米沢城跡	門東町1丁目3028-43	3月29日	店舗	トレンチ	1m×3m 1本
3	下花沢b	下花沢1丁目7517-4他	4月5日	個人住宅	トレンチ	1m×3m 1本
4	台ノ上	喜妻町61番1号	4月16日	個人住宅	現地踏査	
5	米沢城跡	門東町2丁目8番16号	5月2日	個人住宅	現地踏査	
6	上谷地B	大字川井上谷地322-1,322-2,323他	5月8日	宅地造成	トレンチ	1m×30~40m 3本
7	桐井屋敷	窪田町矢野目桐井屋敷1051	5月9日	個人住宅	グリット	1m×1m 1箇所
8	大沢b	大字字檀ノ前204-2他	5月10日	送電用鉄塔立替	グリット	1m×1m 4箇所
9	春日町	春日3丁目503-1,1,312-69	5月11日	集合住宅	グリット	1m×1m 2箇所
10	古志田遺ノ内蔵A	古志田2841	5月23日	個人住宅	グリット	全域
11	大塚A	大字笹野516-13	6月4日	個人住宅	トレンチ	2m×4m 1本
12	上谷地B	大字川井上谷地544	6月6日	物置	グリット	全域
13	萩ノ森	大字長手字萩ノ森2319-30,2344	7月23日	個人住宅	現地踏査	
14	花沢A	花沢町1丁目2503,2504-1	7月31日	個人住宅	グリット	2m×1m 1箇所
15	神山館跡	万世町神山字館ノ内2807-1,6,2803-3	10月2日	集会所	現地踏査	
16	米沢城跡	門東町2丁目3007-1他	10月19日	店舗	トレンチ	1m×10m 1箇所
17	米沢城跡	丸ノ内3100-1,3100-4,3113	10月25日	個人住宅	グリット	2m×2m 1箇所
18	三合免館跡	大字下新田字三合免2461	12月4日	個人住宅	現地踏査	
19	米沢城東二ノ丸跡	丸ノ内1-1-5	12月13日	集合住宅	トレンチ	1m×3m 1箇所
20	下原b	通町2丁目11-4	12月19日	知的障害者福祉施設	現地踏査	

表2 公共事業関連分布調査箇所

No.	遺跡名	調査箇所	調査月日	種別	調査方法	備考
1	花沢A	花沢町1丁目2517-2他	6月25日,30日	下水管理設	立会い	
2	大樽	館山4丁目6502-2他	7月18日~25日	上水道	トレンチ	1m×1~8m 5箇所
3	金ヶ崎A	大字上新田字松原2356他	8月6日,9日	上水道	トレンチ	0.8m×3m 5箇所
4	窪平	広幡町字窪平山2107-32 広幡町字窪平2523-1他	8月28日,29日	上水道	トレンチ	1m×6m 2本
5	台坂	下花沢3丁目1860-4他	10月18日,31日	下水管理設	立会い	
6	台坂	下花沢2丁目1683-2外	10月11日	道路	トレンチ	2m×4m 1本
7	館山平城	館山2丁目他	10月15日	上水道	立会い	
8	下新田館跡	大字浅川字大南地内	10月24日	道路改良	トレンチ	1.2m×5m 5箇所
9	大塚A	大字笹野字大塚地内	11月2日	私道拡張(市道編入)	グリット	1m×1m 4箇所
10	米沢城南三ノ丸跡	門東町1丁目地内	12月14日	公共下水道	立会い	

表3 大規模開発分布調査箇所

No.	遺跡名	調査箇所	調査月日	種別	調査方法	備考
1	該当なし	万世町片字地内	4月18,19日	宅地造成	トレンチ	2m×2m 2箇所
2	該当なし	信夫町2599,2600,2601	6月21日	集合住宅	現地踏査	
3	該当なし	城西1丁目115-4	6月22日	集合住宅	グリット	2m×2m 1箇所
4	該当なし	松ヶ峰1丁目4843	6月22日	集合住宅	現地踏査	
5	該当なし	太田町2丁目地内	7月27日	宅地造成	現地踏査	
6	該当なし	下花沢2丁目7145外	8月1日	商業店舗開発	現地踏査	
7	該当なし	花沢町1丁目1109-1外	8月20日	集合住宅	現地踏査	
8	該当なし	大字関根13541番地	8月30日	学校建設	現地踏査、ボーリング踏査	
9	該当なし	徳町5番地内	9月6日	宅地造成	トレンチ	2m×70m 2箇所
10	該当なし	六郷町西馬泉字上川原-1-2	9月6日	砂利採取	現地踏査	
11	該当なし	塩井町塩野字川在家5044外3番	10月25日	砂利採取	トレンチ	1.5m×20m 1箇所
12	該当なし	御園2丁目地内	10月10日	宅地造成	トレンチ	1.2m×2m 2箇所
13	該当なし	林泉寺3丁目373-3	11月7日	集合住宅	トレンチ	1.5m×4m 5箇所
14	該当なし	大字竹井1383	5月~11月	学校建設	トレンチ	別紙参照



第7図 上谷地B遺跡トレンチ配置図

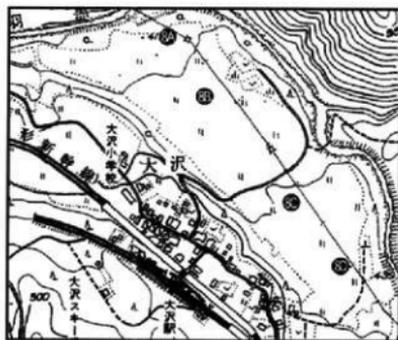
上の図が今回試掘調査を実施した表1-6の開発範囲である。現況は水田で北側を東西に延びる市道があり、南側は小高い河岸段丘になっている。

この箇所に宅地造成が民間業者計画されたことから、平成19年5月8日に重機を使用して試掘調査を実施した。図で示す様に、南北に3箇所のトレンチを配して掘り下げた。トレンチ幅は1mであり、長さは30～40m、深さは平均30cmであった。その結果T3とした西側を中心に縄文 鋸縷7遺物が認められたことから、遺物が集中する箇所について発掘調査を実施することになった。

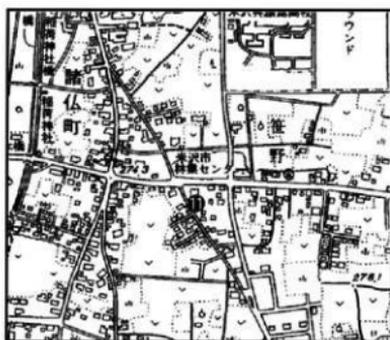
発掘調査の詳細は、米沢市埋蔵文化財報告書第93集としてまとめ平成20年3月に発刊する。

表1-12の地点は、第5図に示した箇所であり今回の発掘調査箇所からは南方に約200mの位置にある。この箇所は、物置小屋を建てる計画であり、開発面積の範囲について試掘調査を実施した。その結果、以前の建物による削平は認められたが、比較的良好に地山層が残っており、黄褐色土シルト層の確認面が認められた。

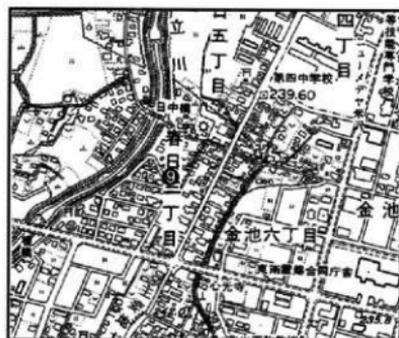
遺構は、確認されなかったが遺物としては近世陶器片が出土した。これらの事項から慎重工事で進めるよう指示した。



第8図 大沢b遺跡試掘箇所位置図



第11図 大塚A遺跡試掘箇所位置図



第9図 春日町遺跡試掘箇所位置図



第12図 萩ノ森遺跡試掘箇所位置図



第10図 古志田館ノ内館A遺跡試掘箇所位置図



第13図 花沢A遺跡試掘箇所位置図

#### 8) 大沢b遺跡(米沢市遺跡登録番号D-187)

第8図で示す箇所、奥羽本線、大沢駅の北方に位置する。以前は水田地帯であったが、現在は大半が休耕田であり羽黒川の段丘状に位置している。

今回の試掘調査は、この地域にある鉄塔の立替工事に伴うもので、第8図に示した4箇所について試掘調査を手掘りで実施した。その結果、確認面までは30～50cmの深さであり、確認面は砂質で礫が混入する土層であった。遺構、遺物は確認されなかったが、遺跡範囲であり慎重工事を指示した。

#### 9) 春日町遺跡(米沢市遺跡登録番号J-371)

第9図で示す箇所であり、山形県置賜総合支庁の西側に位置する。現況は畑や果樹園となっており、手掘りによって試掘調査を実施した。

層位は、耕作土が20～30cmの深さで次に砂層が10cm堆積していた。確認面は微砂質土であり、遺構、遺物は確認されなかったが、遺跡範囲であり慎重工事を指示した。

#### 10) 古志田館ノ内館A遺跡(米沢市遺跡登録番号E-542)

第10図で示す箇所であり、米沢市西南部の斜平丘陵の山麓に位置し、近くに笹野観音堂がある。

以前にも宅地があった箇所であり、斜面を削平して造成したものと判断され、遺構や遺物は確認されなかったが、遺跡範囲に含まれることから慎重工事を指示した。

#### 11) 大壇A遺跡(米沢市遺跡登録番号E-111)

第11図で示す箇所であり、山形県立米沢興譲館高校の南方部に位置する。重機を用い、トレンチを配して実施した。その結果、地表から85cmの深さで暗黄褐色粘質シルト層の確認面に達した。確認面の上層は、大半が後世の攪乱層であった。

精査したところ遺構や遺物は確認されなかったが、遺跡範囲に含むことで、慎重工事を指示した。

#### 13) 萩ノ森遺跡(米沢市遺跡登録番号A-344)

第12図で示す範囲であり、米沢市の北東部に位置する。造成地が道路より低い位置にあることから盛土をして工事を実施する計画であり現地踏査で対応した。

遺跡確認面に影響はないものと判断されるが、遺跡範囲であることを考慮し、慎重工事を指示した。

#### 14) 花沢A遺跡(米沢市遺跡登録番号E-252)

第13図で示す箇所であり、奥羽本線米沢駅の北西に広がる遺跡である。平成18年には、今回の試掘箇所の南方250m地点で発掘調査を実施している。この成果については、米沢市埋蔵文化財報告書第91集として報告している。

試掘調査は、重機を使用して実施した。その結果、後世の盛土が20cm、次に砂層が10cm、確認面は微砂質層であった。遺構・遺物は確認されなかったが、遺跡範囲であることから慎重工事を指示した。



第14図 梓山館跡試掘箇所位置図



第15図 三合免館跡試掘箇所位置図



第16図 下原b遺跡試掘箇所位置図

#### 15) 梓山館（米沢市遺跡登録番号A-307）

第14図に示す箇所であり、米沢市の東南部、万世町梓山に位置する。この館跡は県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊り」の奉納神社である、梓神社の北方60mの水田地帯に存在する。

40年頃の圃場整備事業によって消滅しているが、字切図には土塁や堀の痕跡が明確に確認することができる。復元すると、南北130m、東西135mの方形と推測することができる。

堀幅は12m、土塁幅は10mと算定され、地元の情報とも一致する。従って、堀を除く土塁内での長さは、一町四方と推測される。

単郭式の平城としては、米沢市内では最大規模を有するが、城主等の伝承はなく年代的にも明確ではないが、館の北方約100mには14世紀頃に構築された10～20m規模の方形土壇が10基確認されており、館との関連性が注目される。

現地踏査の結果、今回の開発範囲は、館跡周辺の北東隅に相当し、直接館跡に影響はないと判断される。また、開発範囲が道路より低いことから70cmの盛土を計画しており、遺構確認面までには到らないと思われる。ただし遺跡範囲であり、慎重工事を指示した。

#### 18) 三合免館跡（米沢市遺跡登録番号A-339）

第15図に示す箇所であり、JR奥羽本線置賜駅の西方に位置する。館跡の西南を北流する最上川によって形成された河岸段丘上に立地している。

今回の試掘調査は、増築に伴うものであり現地踏査で対応した。その結果、30cmの山砂を盛土して建築した既存の建物と同じ敷地内であり、工事による影響はないものと判断される。ただし、遺跡範囲であることから慎重工事を指示した。

#### 20) 下原b遺跡（米沢市遺跡登録番号E-301）

第16図に示す箇所であり、米沢市東南部の米沢市立松川小学校、南西部地域に位置する。遺跡の西方には、最上川が北流しており左岸には発達した河岸段丘が連続して存在する。この下流域には、本市でも屈指の縄文時代中期の集落として知られる台ノ上遺跡が分布している。

台ノ上遺跡の発掘調査の成果から、最上川は西から東に移動したことが判明しており、今回の試掘箇所も旧河川跡の可能性が高い。

また、松川小学校の建設に伴い試掘調査を実施したが、発掘調査には至らなかった。試掘調査によって数点の石器を確認している。これらの成果から、遺跡の中心は、今回の試掘調査地点よりも南方と考えられる。

従って、松川小学校と同一な状況であるが、遺跡範囲であり慎重工事を指示した。以上述べたのが、平成19年度の包蔵地内に於ける民間による開発に係わる分布調査であり、昨年と比較すると19件少なくなっている。これはここ数年亘って、見られる現象である。



第17図 花沢A遺跡試掘調査区位置図



第20図 窪平遺跡試掘調査区位置図



第18図 大樽、館山平城遺跡試掘調査区位置図



第21図 台坂遺跡試掘調査区位置図



第19図 金ヶ崎A遺跡試掘調査区位置図



第22図 米沢城東二ノ丸跡試掘調査区位置図

### 3 包蔵地内分布調査（公共事業）

平成19年度の公共事業に伴う試掘調査は、10件であった。上水道や下水道は限られた範囲であり、工事期間も長期に及ぶことから立会い調査で対応した。道路拡張工事等の広範囲に及ぶ場合は、重機によるトレンチ調査や手掘りによるグリット調査を併用した。以下に表2で示した箇所について説明する。表の番号と各図に示した地点の番号は一致している。

#### 1) 花沢A遺跡（米沢市遺跡登録番号E-252）

第17図に黒色で示した箇所が、今回立会い調査を実施した地域である。遺跡範囲の中では、北西部に位置し東方から西方に緩やかに傾斜する。この地域は砂層が大半を占め、旧河川跡の影響を示している。各箇所とも遺構や遺物は、認められなかったが、遺跡範囲であることから慎重工事を指示した。

#### 2・7) 大樽遺跡・館山平城（米沢市遺跡番号G-150・G-527）

大樽遺跡は第18図に示した2の箇所について、試掘調査を実施した。その結果、地表から66～78cmの深さで暗黄褐色粘土層及び砂利層（地山）が確認されたが、遺構、遺物は検出されなかった。よって、申請箇所に遺構等が存在する可能性は少ないが、遺跡範囲であり慎重工事で進めるように指示した。

もう一箇所の館山平城は、同図7の箇所であり水道管を取り替える工事に伴うものである。埋設箇所の掘削で攪乱層が著しく、工事による影響はないものと判断されるが、遺跡範囲であり遺物が混入する可能性も考慮し、慎重工事を指示した。

#### 3) 金ヶ崎A遺跡（米沢市遺跡登録番号A-23）

第19図に示す箇所であり、米沢市の北東部に位置する。遺跡名の後に続くアルファベットの大字は遺跡範囲内での発掘調査が実施したことを示し、未調査の遺跡は小文字として表示している。今回の申請箇所については、遺構、遺物は検出されなかったが、遺跡範囲に含むことから慎重工事で進めるように指示した。

#### 4) 窪平遺跡（米沢市遺跡登録番号J-641）

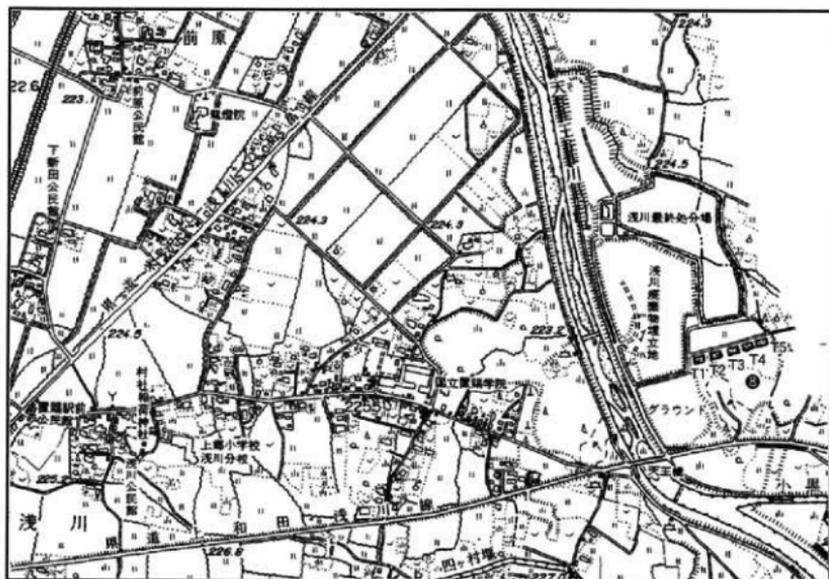
第20図で示す箇所で、米沢市の北西部に位置する成島八幡神社境内の裏側に隣接している。T-1・2の2箇所について試掘調査を実施したが遺構、遺物は確認されなかったが、遺跡範囲であり慎重工事を指示した。

#### 5・6) 台坂遺跡（米沢市遺跡登録番号D-80）

第21図に示した2箇所の箇所である。両者とも遺構、遺物は検出されなかったが遺跡範囲であり、慎重工事で進めるように指示した。

#### 10) 米沢城南三ノ丸跡（米沢市遺跡登録番号N-304）

第22図に示す箇所であり、立会い調査の結果では泥炭層が確認され、堀の一部と考えられるが遺物は確認されなかった。しかし、遺跡範囲であり慎重工事で進めるよう指示した。



第23図 下新田館跡試掘調査区位置図

#### 8) 下新田館跡 (米沢市遺跡登録番号A-25)

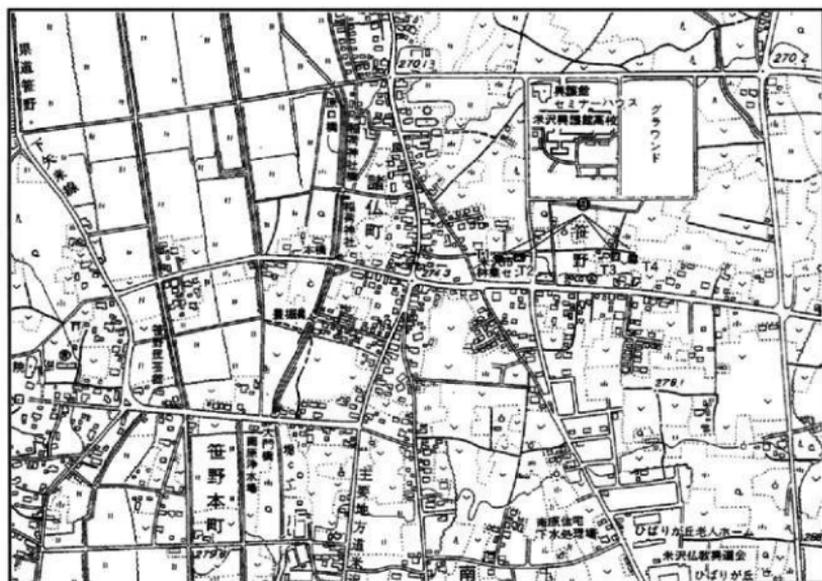
上の図で示すT1～T5の地域であり、米沢市の北東端部に位置し高島町と隣接する。今回の試掘調査は、市道浅川大南2号線道路改良事業に伴うもので、遺跡は天王川によって形成された河岸段丘に立地している。現況は水田が大半を占めるが、一部林となっている。

試掘調査は、重機を使用して実施し、道路予定地に沿ってトレンチを配置して掘り下げた。その結果、耕作土は30～40cmで直下が確認面であった。確認面は黄褐色微砂質土であり、この面を掘り込んだ痕跡が確認された。形状は不正形を呈する形態であり、上面からビニール系の堆肥袋が混入しているのが認められた。これらの状況から判断されることは、圃場整備の際に生じたものである。

また、残っている林地の地盤からすれば、開田の際に削平されたものと推測され、遺構・遺物は消滅した可能性が高い。

一方、トレンチの掘り下げによって生じた残土に剥片が認められた。土器等の出土は皆無であったので年代は把握できなかった。

館跡の遺跡として登録されているが、今回の試掘調査で新たに縄文時代が存在することが判明し、複合遺跡であると考えられる。試掘調査を実施した水田箇所以外の地域に遺跡が分布しているものとみられる。



第24図 大壇A遺跡試掘調査区位置図

### 9) 大壇A遺跡 (米沢市遺跡登録番号E-111)

上の図で示す箇所であり、米沢市の南部に位置する。今回試掘調査を実施した北方には、山形県立米沢興譲館高校がある。同校の建設に伴う分布調査によって、遺跡が確認されたことで、発掘調査が昭和60年に(財)山形県埋蔵文化財センターの手によって実施された。成果については、山形県埋蔵文化財調査報告書第103集として翌年の1986年(昭和61年)に刊行されている。

その報告書によると、縄文時代前期を中心とする集落で、他に縄文中期・同後期の時期も確認され、長期にわたって居住したことを示している。同時期に米沢市教育委員会による試掘調査も実施され、同様な成果を得ている。

試掘調査は市道拡幅工事に伴うものであり、試掘箇所を西側からT1・2・3・4の試掘箇所を設定して手掘りで掘り下げた。その結果、西側は旧河川跡の様子を示しており、黒褐色土に多量の砂や小礫が混入する土層で、深さは40～90cmをなし下層は砂利層であった。遺物等は認められなかったが、T1・T2まで同様な状況が続き、東方に向かって緩やかな高台になってゆく。

T3・T4は、表土を剥離した面に黄褐色シルト層が認められたが、遺構・遺物は検出されなかった。よって、発掘調査までは到らないが遺跡範囲であり慎重工事を指示した。



第25図 万世町片子地内調査区位置図



第28図 松ヶ岬一丁目地内調査区位置図



第26図 信夫町地内調査区位置図



第29図 太田町二丁目地内調査区位置図



第27図 城西一丁目地内、御南二丁目地内調査区位置図



第30図 下花沢二丁目地内調査区位置図

#### 4 大規模開発に伴う分布調査

表3に示した箇所であり、14箇所について現地踏査や試掘調査を実施した。14の学校建設に分布調査に関しては、広範囲に及ぶことから第Ⅲ節で述べる。表の番号と位置図の番号は符号しており、砂目のスクリーン箇所が開発範囲である。

##### 1) 万世町片子地内 (第25図)

本市の東部地区に位置する箇所で、開発予定地の現況は宅地跡や畑である。最初に現地踏査を行い、遺構が残存している可能性がある箇所についてトレンチを配して掘り下げた。その結果、表土した30cm下面から大形の川原石が出土したが、コンクリートが付着していた。遺物としては、陶磁器1点が出土した。これらの状況から発掘調査は必要ないが、開発中に遺構、遺物等を発見した場合は速やかに教育委員会に連絡するように指示した。

##### 2) 信夫町地内 (第26図)

現況は大半が畑であり、畑土の下面は礫層で占められることが現地踏査によって確認した。開発範囲において発掘調査は必要ないが、開発中に遺構や遺物等を発見した場合は速やかに連絡する様に指示した。

##### 3・12) 城西一丁目地内・御廟二丁目地内 (第27図)

3の箇所の現況は原野であり、トレンチを設定して重機で掘り下げた結果粘土質の良好な確認面であったが、遺構や遺物は確認されなかった。

12は、盛土が1mあり以前は低地だったことを示していた。埋められた土砂は残土が大半であった。両者とも発掘調査の必要はないが、遺物等を発見した場合は速やかに教育委員会に連絡するように指示した。

##### 4) 松ヶ岬一丁目地内 (第28図)

開発範囲は、以前に宅地があったところであり、削平が著しく遺構や遺物は認められなかった。従って、発掘調査は必要ないが開発中に遺構や遺物等を発見した場合は、速やかに教育委員会に連絡するように指示した。

##### 5) 太田町二丁目地内 (第29図)

開発予定地の現況は、休耕田の低湿地帯であり、盛土が約30cm認められた。周囲の環境や地形から判断して、遺跡は存在しないと考えられる。よって、発掘調査は必要ないが、開発中に遺構や遺物等を発見した場合は、教育委員会に速やかに連絡するように指示した。

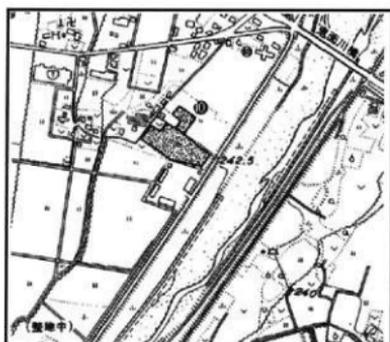
##### 6) 下花沢二丁目地内 (第30図)

奥羽本線米沢駅の東に隣接する箇所であり、現況は空地になっているが以前は製紙工場(羽陽産業)があった。大形店舗を建設することから基礎工事は、120cm掘り下げる工法である。そのため、基礎掘下げ作業と併行して現地踏査を実施した。

層位は、碎石層(30～50cm)、工場を解体した際の整地層(30～40cm)、その下面は礫層であり、旧羽黒川の河川跡と判断される。



第31図 花沢町一丁目地内調査区位置図



第34図 六郷町藤泉地内調査区位置図



第32図 関根小学校地内調査区位置図



第35図 塩井町塩野地内調査区位置図



第33図 徳町5番地内調査区位置図



第36図 林泉寺三丁目地内調査区位置図

#### 7) 花沢一丁目地内 (第31図)

開発予定地の現況は休耕田であり、草が生い茂る状況である。現地踏査を実施した結果、河岸段丘下の底地にあたり、周囲の地形から判断して遺跡は存在しないと考えられるが、開発中に遺物等を発見した場合は速やかに教育委員会に連絡するように指示した。

#### 8) 関根小学校地内 (第32図)

開発予定地の現況は、原野及び果樹園である。地形的には羽黒川第二河岸段丘の下場であり、ボーリング探査の結果では砂層で礫層に到達する。これらの事項から、遺跡は存在しない可能性が高いが、開発中に遺物等を発見した場合は速やかに連絡するように指示した。

#### 9) 徳町5番地内 (第33図)

開発予定地の現況は、周囲を住宅地に囲まれた草地であるが、以前は水田であった。南北に長い平坦な土地に対し、幅2m、長さ70mのトレンチを2箇所設定して重機による試掘調査を実施した。その結果、深さ40cmで確認面に達し、地山層は微砂質土を中心に、礫層の箇所も北方に認められた。遺構としては溝跡やピット等があるが、土色から判断して現代のものである。遺物としては、陶磁器1点が出土している。これらの結果から、発掘調査は必要ないが開発中に遺物等が発見された場合は、教育委員会に速やかに連絡するように指示した。

#### 10) 六郷町藤泉地内 (第34図)

開発予定地の現況は、水田南東に鬼面川が隣接するように北流している。現地踏査を実施した結果、周囲の地形から判断して旧河川跡と判断される。従って、開発範囲において発掘調査は必要ないが開発中に遺構や遺物が発見した場合は、速やかに教育委員会に連絡するように指示した。

#### 11) 塩井町塩野地内 (第35図)

開発予定地の現況は、水田であり稲刈り後に試掘調査を実施した。重機を使用して、1.5m×20mのトレンチを1箇所設定して掘り下げた。その結果、耕作土の下面は礫層であり、遺構や遺物は確認されなかった。従って、発掘調査は必要ないが開発中に遺物や遺構を発見した場合は速やかに教育委員会に連絡するよう指示した。

#### 13) 林泉寺三丁目地内 (第36図)

開発予定地の現況は、水田であり水稲栽培をしていることから収穫が終了してから現地での試掘調査を実施した。この開発地区の南東には、古志田東遺跡が位置している。この遺跡は平成11年(1999)に米沢市教育委員会が実施した林泉寺住宅団地第五期造成工事に伴う試掘調査によって発見された遺跡であり、現在は国指定史跡公園として整備されている。

試掘調査の結果、泥炭層で遺構や遺物は確認されなかったが、工事の際に遺物等を発見した場合は速やかに、教育委員会に連絡するように指示した。



第37図 米沢市東部地区分布調査箇所位置図

## 第Ⅱ節 米沢市東部地区における分布調査

### 1 米沢市東部地区に於ける分布調査の概要

第37図で示す地域が範囲であり、上郷地区、万世地区、山上地区の一部の三地区が相当する。地区内は、道路建設や学校建設等の公共事業が行われており、発掘調査としては、万世地区で財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した高規格道路建設に伴う発掘調査がある。

また、県道米沢亀岡線の改良工事に伴う試掘調査等や松食い虫対策の事業も計画されており、これらの事業に対応するために今年度は当地区の分布調査を実施した。

### 2 分布調査の成果

1と示した地域は、高畠町に隣接する地域であり山林の大半を占める松林が松食い虫の影響によって、立ち枯れが目立つ地域のひとつである。この地域が松木を除去するのに先立ち山城等に視点を置き、現地踏査を実施している。新たに発見した遺構はなかったが、すでに確認している山城の遺構については作業の際に十分注意するよう現地で関係者に指示した。

2は、学校建設に伴う試掘調査を実施した地点である。周辺には、独立丘陵の川井山があり山城の遺構が確認されている。また、山の麓には伊達家家臣団、鬼庭氏の菩提寺であった桃源寺が現存する地域であることから、小学校建設予定地は中世を中心とする遺跡の存在が推測されていた。このような状況から今回試掘調査を実施した。

3の地域一帯は、遺跡が密集する箇所である。県道の改良工事が進んだことや近くに工業高校や中学校が建設されたことにより、住宅の建設が相次いで行われており、これらの開発事業にともなって発掘調査が実施されてきた。今年度も、個人の住宅地造成工事に係わる試掘調査を実施した。

試掘結果に基づき関係機関と協議し、発掘範囲を最小限に留めるために保存できる箇所については、盛土等の対応を依頼した。今後も開発が進むことから、よりいっそうのご理解とご協力を関係各位に指示した。

4は、発掘調査が行われた地域であり万世町桑山地区に位置する。昨年度から継続しており、今年度の発掘調査から新たな遺跡が確認された。

調査箇所の南方に位置する早坂山には、山城が確認されていた。今回の調査からこの山城に関連する遺構や遺物が出土し、また今回の調査範囲以外にも遺跡の範囲が広がっていることが判明した。この箇所に分布する遺跡群については、米沢市教育委員会も把握してなかった。

そのため、現地踏査による遺跡の範囲確認作業を実施した。山城に通じると考えられる道路の存在や、沢合いに広がる平坦地が認められた。積雪のため把握できなかった箇所もあることから、雪解けをまって調査を進め、米沢市遺跡地図に登録すべく計画している。



第38図 上郷小学校試掘範囲図

### 第Ⅲ節 上郷小学校建設予定地内に於ける分布調査

#### 1 試掘調査の概要

第38図の斜線スクーリントン箇所が分布調査箇所である。第39図のトレンチ配置図で示すように、T1～T45の地点について実施した。これらの箇所については便宜上、次の様な呼び名をつけた。グラウンドAをT26～T45、グラウンドBはT1～T7、校舎敷地AはT8～T14、校舎敷地BはT15・T23～T25、校舎敷地CはT16～T22とした。

調査期間は、グラウンドBと校舎敷地Aを平成19年5月14日～同年5月25日で面積は331㎡であった。児童の夏休期間に実施した校舎敷地B・Cは同年7月30日～同年8月9日で面積は184㎡であった。グラウンドAについては、同年11月6日に行い面積は144㎡で、試掘面積の合計は659㎡であった。重機が進入困難な校舎敷地Cは、手掘りで実施したがそれ以外については、重機を使用した。グラウンドの様に広い場所については、中型重機（0.4㎡）を使用し校舎付近の際は小型重機（0.25㎡）を用いた。

#### 2 分布調査の成果

##### ○グラウンドA

小トレンチ20本を配置して実施下結果、第40図で示す遺構群が確認された。範囲については、第39図に示した。遺構は、溝跡や柱穴で中世と判断される。北側は河川堆積による泥炭層、南側は削平されていた。遺構が分布する面積は2,400㎡と推測され、開発の際には発掘調査対象地域となる。

##### ○グラウンドB

トレンチ7本を配置して調査を実施したところ、近世の落込みと最近の攪乱層が検出する程度で、主要な遺構・遺物は確認されなかった。この結果から、発掘調査対象外区域と判断される。

##### ○校舎敷地A

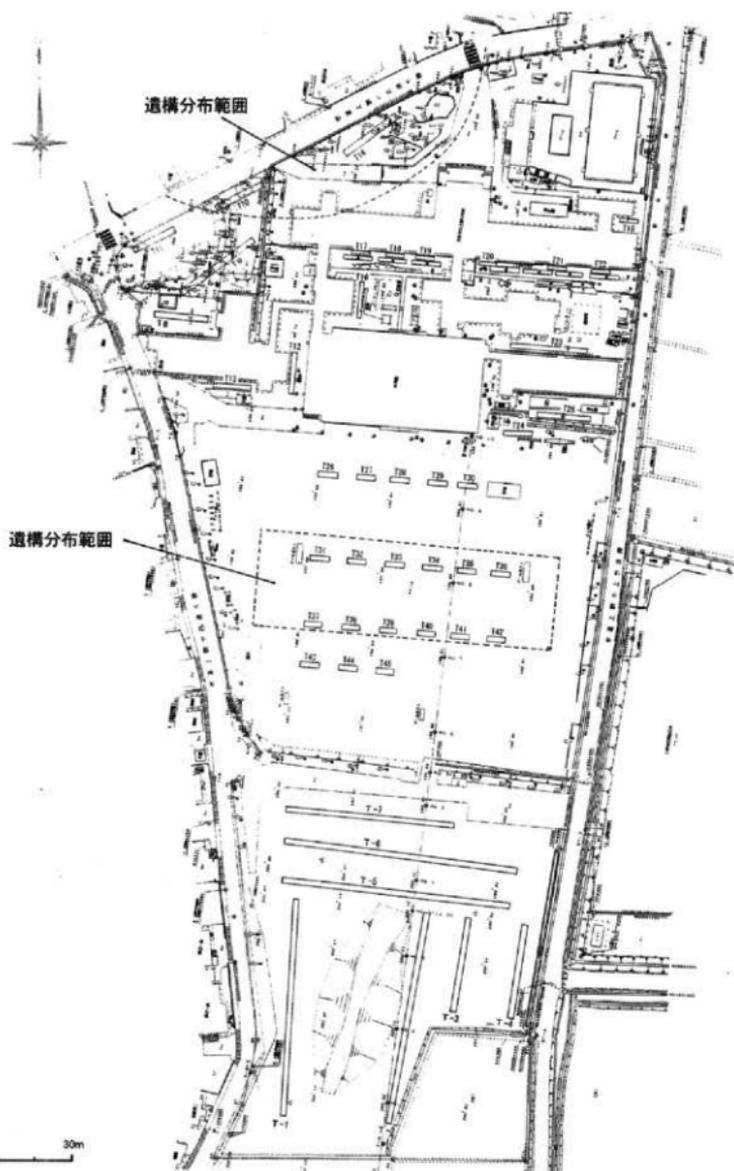
トレンチ7本を配置して試掘調査を実施したところ、県道に沿って中世期の掘立柱建物跡や溝跡が第40図に示したT14から検出された。旧商業高等学校上郷分校校舎付近には、遺構の存在が見られないことから校舎北側から県道を隔てた北側にかけて遺跡が分布しているものと推測される。調査対象としては、東西85m、南北20mの1,700㎡が想定される。

##### ○校舎敷地B

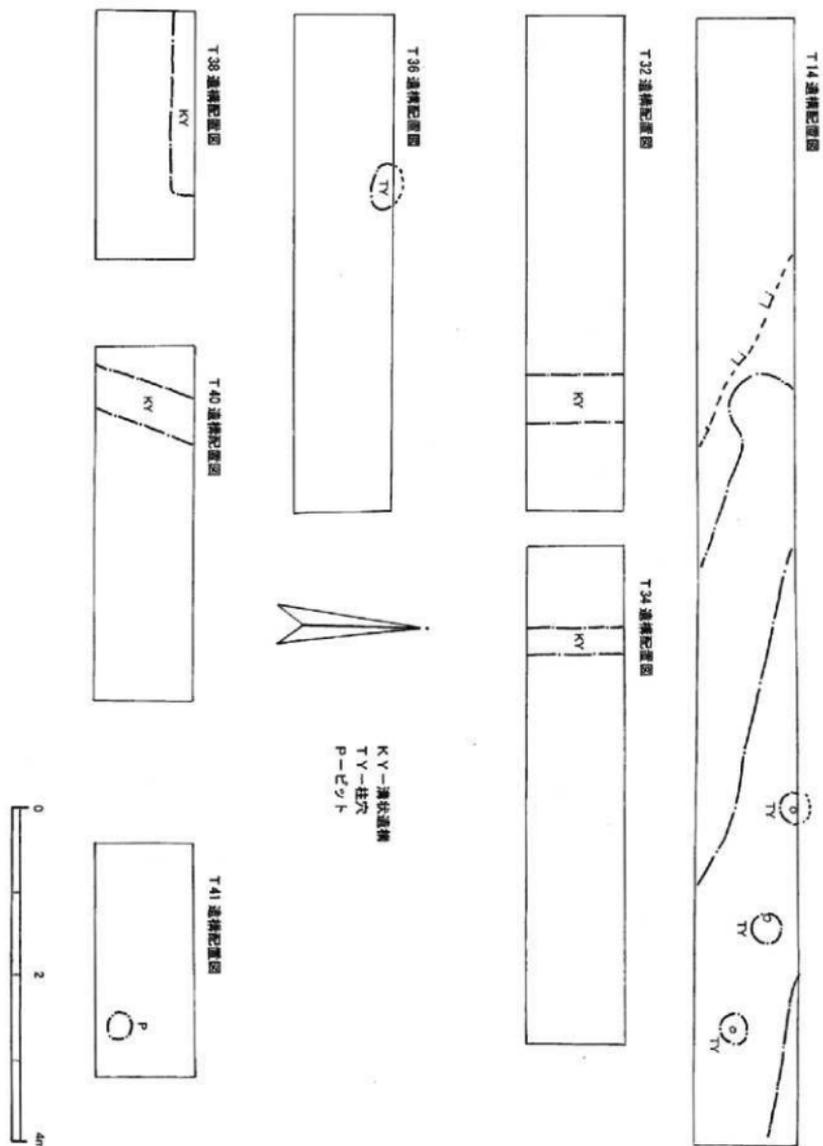
トレンチ4本を配置して確認した結果、旧河川と推測される泥炭層がみられたが遺構や遺物は確認できなかった。調査対象外と判断される。

##### ○校舎敷地C

手掘りと重機を併用して6本のトレンチを配して確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。調査対象外と判断される。



第39図 上郷小学校建設予定地試掘調査トレンチ配置図



第40図 上郷小学校建設予定地試掘調査トレンチ遺構配置図

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	いせきしょうさいぶんぶちょうさほうこくしょ
書名	遺跡詳細分布調査報告書
副書名	第21集
巻次	
シリーズ名	米沢市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第95集
編著者名	菊地政信
編集機関	米沢市教育委員会
所在地	〒992-0012 山形県米沢市金池三丁目1-55号 TEL (0238) 22-5111
発行年月日	西暦2008年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査 期間	調査 面積 m <sup>2</sup>	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
		6202				20070405 ~ 20080331		

写 真 图 版



▲T-7 遠景 東方から



▲T-7 層位 北方から 深さ 60 cm 確認面泥炭層



▲T-6 掘下げ状況 東方から



▲グラウンドB埋戻し状況 北方から



▲T-6 層位 北方から 深さ 60 cm 確認面泥炭層



▲T-17 掘下げ状況 西南から



▲T-7 掘下げ状況 東方から



▲T-16 掘下げ状況 南方から



▲ T-16 層位 南西から 深さ 80 cm 確認面泥炭層



▲ T-20 掘下げ状況 東方から



▲ T-24 掘下げ状況 南東から



▲ T-21 掘下げ状況 東方から



▲ T-24 掘下げ状況 南東から



▲ T-21 層位 南方から 深さ 90 cm 確認面泥炭層



▲ T-24 確認面状況



▲ T-23 掘下げ状況 西方から



▲ T-23 確認面状況 西方から



▲ T-34 掘下げ状況 西方から



▲ T-23 層位 北方から 深さ90cm 確認面泥炭



▲ T-38 確認面状況 右側黒い箇所一溝状遺構 東方から



▲ T-36 確認面状況 黄褐色の箇所一柱穴



▲ T-34 確認面状況 混合層箇所一溝状遺構 西方から



▲ グランドA掘下げ状況 西方から



▲ T-32 確認面状況 黒い箇所一溝状遺構 東方から

米沢市埋蔵文化財調査報告書 第95集

**遺跡詳細分布調査報告書  
第21集**

平成20年3月19日印刷  
平成20年3月31日発行

発行 米沢市教育委員会  
米沢市金池三丁目1-55  
TEL (0238) 22-5111  
印刷 有限会社みなみ工房  
米沢市譜仏町4866-18  
TEL (0238) 38-4639